

2日目 9月17日

会 場： 江津市民球場

第2試合	～2回戦～ (7回コールド)																			
T E A M	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	R	H	E		
大 田	0	0	0	0	0	0	0									0	7	2		
松江農林	2	2	0	3	0	0	X									7	11	0		
(投手-捕手)																				
・ (大)	小倉→大場次→山尾 - 今崎																			
・ (松)	仲西英 - 都田																			
(長 打)	(二塁打)						(三塁打)						(本塁打)							
・ (大)	山根						小倉													
・ (松)	金築、野津、宅和																			
(審判) [球審]	吉岡			〔一塁〕 仁科孝			〔二塁〕 仁科大			〔三塁〕 下谷										
(チーム成績)																				
チーム	打	安	点	二	三	本	振	四	犠	盗	残	併	守	備	失	暴	ボ	逸	打	妨
(大)	27	7	0	1	1	0	2	2	1	0		3			2	0	0	0		0
(松)	32	11	5	3	0	0	4	4	1	0		1			0	0	0	0		0

### 「松江農林が序盤の好機生かす！」

点差こそ開いたが、全く反対の展開になっていてもおかしくない試合であった。

試合は前半から出塁の多い展開となった。1回裏、松江農林は2つの四死球で1死1・2塁とし、4番金築がレフトへの安打を放つ。これをレフトが弾く間に2塁走者が生還する。さらに、1死1・2塁から5番野津の強烈なライナーが三塁強襲の適時打となり、この回に2点先制した。松江農林は、2回裏にも2本の安打と犠打で1死1・3塁とし、3番仲西、4番金築の適時打が飛び出し2点を追加した。

対する大田は、1・2回と強烈なライナーが相手野手の好捕に阻まれた。3・4回にも好機を作るも、併殺で得点を奪うことができない。すると4回裏、松江農林は2死から四球を得ると、4番金築、5番野津、6番宅和の3連続2塁打と大田2番手大場次を捉え一気に3点を加えた。大田は5・6回と好機を作ったが、松江農林のエース仲西の粘り強い投球と固い守備を前に攻めきることができず、7回コールドで松江農林が3回戦へ駒を進めた。

